

ウツデイ エイジ

◎木材の研究と普及◎ 監修：林産試験場



道産材を木道に使う

ウッドエイジ

木材の研究と普及
第74巻6号・通巻862号

目次

道産材を木道に使う……………	1
木材利用の試験研究機関に勤務して⑬ ～普及課で世間の広さを学ぶ・下編～……………	3

●特集『令和7年(2025年)北海道森づくり研究成果発表会』パート I

※令和7年(2025年)北海道森づくり研究成果発表会について…	5
※準不燃トドマツの製品化のためのとりくみ……………	7
※エクステリア用木材塗料の耐候性評価……………	8
※カラマツ人工林材の各種強度性能……………	9
※北海道大学研究林トドマツを用いた新規断面製材に関する研究 その1 丸太および製材の材質評価……………	10
その2 乾燥技術の検討……………	11
その3 トラス接合部および実大トラスの性能評価……	12
※行政の窓〔令和6年度の木材市況について ―道産木材の動向と価格の推移―〕……	13
林産試ニュース・北森カレッジニュース……………	14

※：林産試日より2025年6月号からの転載
(地独)北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場 承諾



大阪・関西万博「大屋根リング」 大阪府大阪市此花区夢洲

万博のシンボル「大屋根リング」は、建築面積約6万m²、全周約2kmの世界最大級の木造建築物で、ギネス世界記録に認定されました。

設計は東川町出身の藤本壮介氏が担当し、会場デザインコンセプトである「多様でありながら、ひとつ」という理念を体現。日本の伝統的な貫接合に現代技術を融合し、国産スギ・ヒノキ(約7割)と外国産オウシュウアカマツ(約3割)の集成材を使用しています。

会場の主動線として機能し、快適な滞留空間を提供しています。